

出荷者が一丸となって、愛される道の駅を目指して!

## 「道の駅にちなん出荷者協議会」

会長 中村 建治さん(鳥取県日野郡日南町福塚)

「道の駅にちなん出荷者協議会」は、地元の農産品や加工品などの良さを県内外の方に知っていただくとともに、コンパクトビレッジの拠点である道の駅を盛り上げるために、平成27年9月に発足しました。現在のメンバー数は個人、団体合わせて約120。日南町の米や新鮮な野菜のほか、農産物を使ったバウムクーヘン、プリンなどの新しい特産品を次々と提供しています。

道の駅には、林業のまち日南町ならではの木のコースターや、廃校となった校舎の木材で作った文房具、おもちゃのキッチンなどの木工品が豊富に取り揃えられ、子どもも大人も楽しめる道の駅として、日南町に賑わいを生み出しています。

会長の中村さんは、道の駅をさらに充実させ、今後はインターネットを活用した通信販売にも力を入れたいとのこと。

全国の方に日南町の特産品の魅力をアピールし、町の皆さんの暮らしをより豊かにしていくことを目標に元気に活動しています。



季節の果物や野菜のほか、様々な種類の加工品や木工品が並びます。特産の自然薯を使ったバウムクーヘンやプリンなどのスイーツ、日南町のキャラクターを焼き印として入れた「おっさんせんべい」、木材を組み合わせて作ったコースターなど、日南町ならではのお土産が、道の駅の魅力を高めています。

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



【会長の中村さん】  
日南町は、若者にチャンスが与えられるオープンなまちです。地域ブランディングで、日南町の魅力を全国の方に知っていただき、人口減少を食い止めたいと考えています。

【つき立ての特別栽培米を並べる会員の木山さん】  
道の駅に立ち寄られる県内外のお客様や町内の皆さんに、日南町の美味しいお米を味わっていただき、日南町のファンを増やしていければ嬉しいです!!

## 身近な動物、「タヌキ」の話 日野郡鳥獣被害対策協議会 実施隊チーフ 木下 卓也



### <タヌキは間違われやすい動物です>

さて、問題です。①の写真の動物は何でしょう?

多くの方が最初に思うのが「タヌキ」ではないでしょうか。正解は「アライグマ」です。アライグマは耳の縁とヒゲが白く、鼻筋が少し黒いところがタヌキとの違いです。ちなみに②の写真が「タヌキ」です。そっくりですね。



では、次の問題。③の動物は何でしょう?

目の縁が縦に長い黒い模様のため、鼻筋が白く見えます。そのため「ハクビシン」だと勘違いされますが、これは「アナグマ」です。日野郡では「マミ」「ムジナ」の呼び方の方が馴染みがありますよね。④の写真が「ハクビシン」です。



タヌキは、顔でアライグマと間違われ、体形でアナグマと間違われることがあります。さらにタヌキの赤ちゃんは毛色が黒く、ツキノワグマの赤ちゃんとそっくりで、時々ツキノワグマの子供を保護したはずが、実はタヌキだったというニュースが流れます。

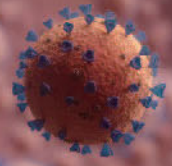
そんな色んな動物に間違われるタヌキですが、「イヌ科」の動物です。ちなみにアライグマは「アライグマ科」、アナグマは「イタチ科」、ハクビシンは「ジャコウネコ科」の動物です。見た目や大きさは似ててもみんなバラバラなんですね。

### <タヌキによる被害の相談は…>

さてさて、そんなタヌキですが、畑のトウモロコシやトマトなどに被害を出すほか、灌水チューブをかじって穴をあけたという被害や倉庫に住み着いて困っているなどの相談があります。タヌキか何か判断できないけど、困ったことがあるという場合は、お気軽にご相談ください。

日野振興センターだより 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

# 新型コロナウイルス感染症を予防し、健康的な生活を送りましょう。



## 1 新型コロナウイルス感染症とは?

新型コロナウイルス感染症は、発熱、咳、倦怠感が主な症状ですが、体の痛み、鼻づまり、喉の痛み、下痢を伴うこともあります。感染者の8割は症状が軽く、医療を受けずに治癒しますが、5人に1人の方は重症化し呼吸困難を伴います。

高齢者の方や、基礎疾患(高血圧、心臓や肺の疾患、糖尿病、癌など)のある方は、重症化の危険性が高くなります。また、感染して無症状の方も、他の人に感染させる可能性があります。

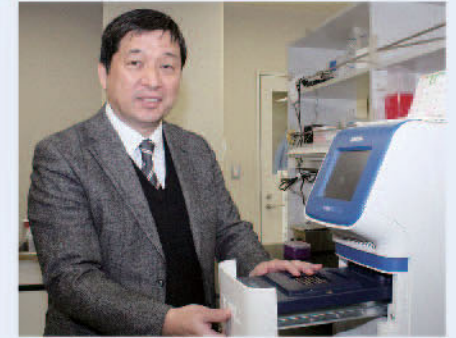
## 2 鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授から日野郡のみなさまへ!

### ① 高齢者が健康に暮らすために適した環境の日野郡

新型コロナウイルスは、特に高齢者の方が罹ると重症化しやすいという特徴を持つウイルスです。

ウイルスは、細胞の中でのみ生き延びることができるという特性があるため、人が密集するところを好みます。

日野郡は人口密度が低く、閉鎖空間も少ないことから、ウイルスとの闘いという意味では、優れた環境であると言えます。



鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授

### ② 筋力の低下を防ぎましょう!

朝起きてバランスのよい食事をし、適度な運動、排泄、入浴で全身を清潔に保ち、夜はしっかり睡眠をとるといった生活リズムを大切にしてください。

筋力の維持のためには、肉、魚、卵、大豆製品などのたんぱく質を食べることも大切です。

2メートル以上の距離を保ちながら、少人数で楽しく散歩をしたり、畑仕事をするのもよいでしょう。

### ③ ストレスコントロールをしましょう

新型コロナウイルスの流行期には、誰しも悲しみや恐怖を感じやすくなります。家族や友人と、メールや電話を活用して積極的にコミュニケーションを取り、ストレスを溜めないようにしましょう。

信頼できる機関からの情報に基づいて生活し、酒やタバコでストレスを解消するのは避けましょう。

### ④ ウイルスに接する機会をできるだけ作らないようにしましょう

買い物は地元の店舗を利用したり、宅配を利用するなど、知らない人と接する機会を減らすことが感染リスクを低減することに繋がります。

### ⑤ ウイルスに感染したかも、と心配になったら

すぐに県の発熱相談センターか、かかりつけ医に電話で相談してください。高齢者の方にとっては、軽症の段階で医療を受けることがたいへん重要です。

### 新型コロナウイルス感染症を予防しましょう!

- ・せっけんと流水でよく手を洗いましょう。手洗いができないときは、アルコール入りの手指消毒液を使いましょう。
- ・3つの密(密閉、密集、密接)を避けましょう。
- ・他の人と約2メートル以上の距離を取りましょう。



### エチケットの徹底を!

- ・人と話す時は、熱中症に注意しながらマスクを着用しましょう。
- ・体調がおかしいと感じたら、人と会わないようにしましょう。仕事を休み、会合や冠婚葬祭にも参加しないように心掛けましょう。



## 3 もしも新型コロナウイルスへの感染が心配になったら

☎ 新型コロナウイルスの感染が心配な時は、鳥取県発熱・帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

西部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(米子保健所内)

電話:0859-31-0029 24時間対応(土日、祝日を含む) FAX:0859-34-1392 午前8時30分から午後5時15分(土日、祝日を除く)

☎ 新型コロナウイルス全般に係るご相談は、こちらです。

鳥取県新型コロナウイルス感染症相談窓口

電話:0857-26-7799・7958 FAX:0857-26-8143 午前8時30分から午後5時15分(土日、祝日を除く)

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072